

研究課題名	拳児希望のある慢性骨髄性白血病患者の治療実態調査
研究の意義・目的	慢性骨髄性白血病を発症された患者さんについて、発症時に妊娠されている場合、および、治療経過中に妊娠を希望される場合の実臨床での妊娠の有無、治療実態、妊娠経過、新生児の状態を調査し、本邦での治療実態を明らかにすることを目的としています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2021年11月30日
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	2002年1月1日から2020年11月30日の間に慢性骨髄性白血病慢性期と診断された診断時45歳以下の女性の患者さんが対象になります。この研究は対象となる患者さんの妊娠と治療の実態を明らかにするもので、日本血液学会認定研修施設(全国502施設)を中心に血液内科を標榜する施設に参加を依頼しています。なお、担当医師が不適切と判断した患者さんは除きます。
協力をお願いしたい内容と 研究に使わせていただく 試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 慢性骨髄性白血病診断の時期、診断時年齢、慢性骨髄性白血病の治療内容とその効果・有害事象、妊娠・出産に関わる情報
試料・情報の 他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、医療法人菊郷会 愛育病院血液病センターに頂いた試料・情報を提供します。
この研究を行っている 共同研究機関	医療法人菊郷会 愛育病院血液病センター センター長 近藤 健 日本血液学会認定研修施設(全国502施設)を中心に血液内科を標榜する施設
試料・情報を管理する 責任者	医療法人菊郷会 愛育病院血液病センター センター長 近藤 健
本研究の利益相反	本研究に関連する、慢性骨髄性白血病治療薬であるチロシンキナーゼ阻害薬の販売企業との関係については以下の通りです。 研究分担医師である中前博久はブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社より受託研究費を、同じく研究分担医師である中嶋康博はノバルティスファーマ株式会社より治験費用を受領しております。また、血液腫瘍制御学教室では大塚製薬株式会社より奨励寄付金を受領しております。 利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学 日野 雅之 住所：545-8585 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話：06-6645-3881 FAX：06-6645-3880